

● 7月9日（水） 晴 武華山（1758.5m）

○今日は天気予報では曇/雨だったので、山行きをすっかりあきらめてゆっくり寝ていた。

・5時半に目が覚めて外を見ると、なんと快晴だ！

冗談じゃない！ 急遽武華山へ行くことにし、朝の支度もそこそこに飛び出した。当麻から国道 39 号線へ出て石北峠へ向けてぶっ飛ばす。石北峠を越えて少し下った所に林道入口があり「武華岳登山道入口」というデカイ標識が立っているのでよくわかった。（ここでは武華山ではなく武華岳と呼んでいる、どちらが正しいのだろうか？） 今日で3日続きの登山なので今夜はゆっくりしようと、林道入口で毎年お世話になっている層雲峡ユースホステルに電話して予約をとった。

・この林道は武華山登山口まで 3.5km と比較的短いが、よく整備されていて走り易く、道の両側に咲くルピナスがきれいで快適に走れた。林道の終点が登山口で、数台止まれる駐車スペースが 2ヶ所ある。北見ナンバーの車が 1台止まっていた。



林道入口には大きな標識が



ルピナスが咲く林道を走る



登山道入口

・サンドイッチと牛乳で簡単に朝食を済ませ、7:50に出発した。平坦に近い草付きにオオバミソホオズキが咲く登山道を約 20 分だらだらと歩くと道が二手に分かれる。

右は東尾根コース、左はライオン岩コースで山頂への周遊コースになっている。私は左のライオン岩コースへ入った。

しばらくは白い木肌が美しいダケカンバの林の中の緩斜面で、足元にはズダヤクシュやゴゼンタチバナそれに箱根の山でお馴染みのイワギキョウなどが咲いていて気持ちが良い登山道を楽しんでゆく。

そのうち道はダケカンバやエゾ松の間を縫って登る急坂になる。大汗をかきながら登ってゆくと尾根に出て視界が一気に開け、目の前にライオン岩が、その向こうに武華山が聳えて見える。



道は二手に分かれる ・ 左へ向かう



白肌の美しいダケカンバ林の登山道

ライオン岩はテーブル状の岸峰で高さは 15m くらい。登山道は岩を巻いてゆくが、岩に登る道があったので登ってみた。

上は平坦で結構広くハイマツやエゾ松などが生い茂っている。道にしたがって奥まで行くと木のない岩場に出て展望を楽しむことができた。



ライオン岩とその奥に武華山

・山頂までの尾根道には花が豊富で、マルバシモツケ、エゾノツガザクラ、エゾカラマツ、コケモモ、ウコンウツギ、ミツバオウレンなどの花々が目を楽しませてくれた。



エゾノツガザクラ



コケモモ



エゾカラマツが咲く尾根道

・エゾツツジがいっぱい咲いている山頂へは 10 時半頃着いた。山頂は岩場のため 360 度の展望が開けるが、残念ながら周りには雲が多く遠望がきかなかった。



武華山山頂に咲くエゾツツジ

・静かな山頂で 30 分ぐらい休んでいたら男性 2 人のパーティーが登ってきたので山頂をそのパーティーに譲って東尾根コース方面へ下山を開始した。

・まず前ムカまではハイマツの生える平坦な尾根を 30 分ほど歩くが、ハイマツの根が邪魔をしてかなり歩きにくい。



前ムカへ続く尾根道

・前ムカからはハイマツ帯の急坂を一気に下り、登山口へ 13 時前に着いた。駐車場には私の車ともう 1 台止まっているので、朝あった 1 台と合わせて、今日入山したのは私を含め 3 パーティーというらしい。

・朝出る時は快晴だったので期待してきたが山の上では雲が出て来て展望がえられず残念だった。花はそれほど多く無かったが静かで変化のあるコースで面白かった。

今朝予約しておいた層雲峡ユースホステルへ向け国道 39 号線をのんびり車を走らせた。

・ YH 到着が 14 : 30、当然まだ誰もいない。
バケツに水を汲んで車を洗い、大汗をかいた衣類を全部脱いで洗濯し車のドアに掛けて干した。真夏の太陽の日差しと爽やかに吹く風が洗濯した衣服をどんどん乾かしてくれる。
・ 15 時からの YH チェックインを済ませ、いつも行く朝陽亭ホテルの展望大浴場で表大雪と層雲峡を眺めながらゆっくり汗を流し疲れを癒した。



・夕食はオーストラリアの青年と東京からの女性 2 人組と同席。オーストラリアの青年はあまり日本語がしゃべれないが、みんなで山の話や花の話をしながらの食事で楽しかった。



・今夜の寝室は 202 号室。ビールの酔いが適度にまわり、快い疲れで眠りについた。